

有識者意見概要

■各対象地についての評価

<ボートレース福岡第4駐車場>

- ・必要な面積が確保でき、建築的自由度が高く、象徴的な施設展開が期待できるという評価は妥当
- ・付近に新しく市民ホールが整備されるものの、総合的に周囲との連携が期待しにくい土地と考えられる
- ・多くの市民や来訪者の利便性を考えると、さらに評価は低下する
- ・美術館を起爆剤として新しい人の流れを作ろうとした場合に、既存の土地のイメージとターゲットとの間にずれがあり、臨港地区（商港区）に位置していることも含め、イメージを刷新するのに時間を要する懸念がある
- ・このエリアにおける上位計画との整合性を検討する必要がある

<冷泉小学校跡地>

- ・博多部において歴史・文化の観点から重要な場所に位置していると考えられる
- ・博多遺跡の重要性に鑑みて、当地では遺跡を活かすことを第一にした整備が必要ではないか
- ・拡充にあたっては、様々な機能を持たせるために、余裕を持って床面積を確保できることが条件だと思うが、敷地を遺跡が横断しており、美術館を拡充するにあたっての面積が十分に確保出来ないため、評価が低いことは妥当
- ・車両が通り抜けできない道があり、この土地の接道条件を踏まえて、美術品輸送の大型車両の動線は検討する必要がある

<警固公園地下駐車場>

- ・地下だが必要な面積も確保できる等美術館としての利用は可能と考えられ、地上部の公園との連携も期待できる
- ・地上から地下につながる「導入部」の存在が美術館とまちをつなぐ重要な結節点になるため、その部分のデザインの作りこみが重要
- ・展示機能だけではなく、作家による作品制作・ワークショップの場や、人が集まれるような場等、様々な機能に必要な面積が取れるのは評価できる。また、将来のことを考え、当面の利用分だけでなく、余裕をもって面積を確保しておく必要がある
- ・地下への搬出入動線の確保は検討が必要
- ・地下特有の課題（地下水や埋設物等）に対する検討が重要
- ・既存構造物の再利用をすることは、環境負荷の低減が期待でき、行政としても非常にチャレンジングで評価に値する
- ・都心にこそ文化の拠点があることが重要であり、都市計画・都市デザインの観点から見ても、文化施設がこの場所に立地することは評価に値する

<天神・博多駅エリアの民間ビル内>

- ・民間ビルに公共施設が一緒になることによって総合的に都市デザインに繋がっていくことは意義があると思う
- ・ビル全体のコンセプトや開館時間、将来の更新計画等、開発計画のみならず開館後の運営面でも民間ビル側の意向にかなり左右されることが懸念される
- ・開発計画からの調整となると、かなりの時間を要すると考えられ、実現性が不透明というのは妥当

■警固公園地下駐車場の検証について

- ・既存構造物を活用するため、構造調査や設計は技術的な観点からしっかり検討する必要がある

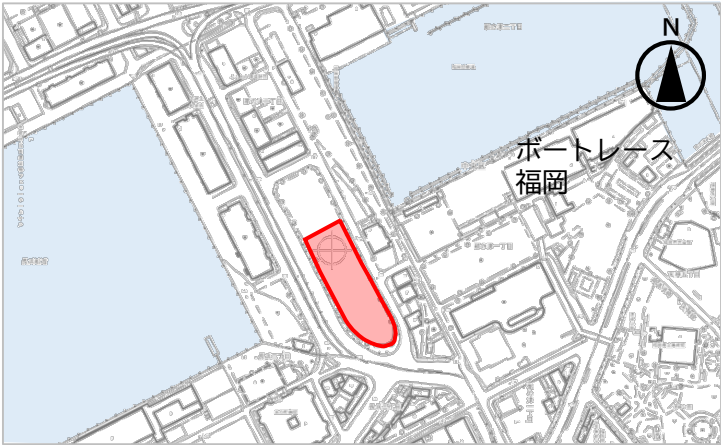
■ 対象地ごとの個別検討

展示機能に必要な規模の面積が確保可能か等、個別に検討を行った。

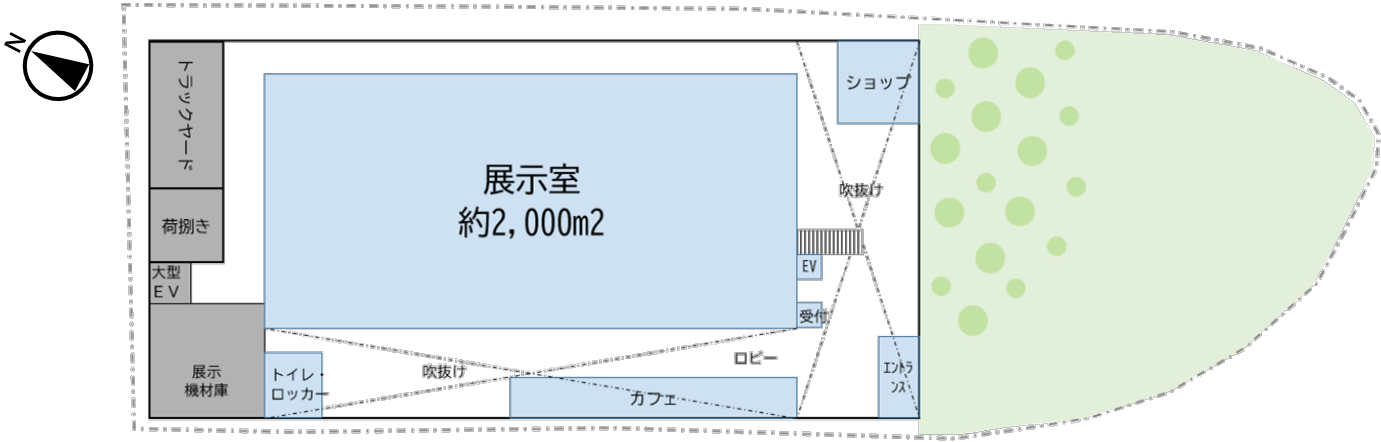
ボートレース福岡第4駐車場

ボートレース福岡第4駐車場については、臨港地区のうち、商港区に指定されている須崎ふ頭に含まれているため、施設配置にあたっては留意する必要があるが、約7,300㎡の敷地内で美術館配置の可能性について検討を行った。

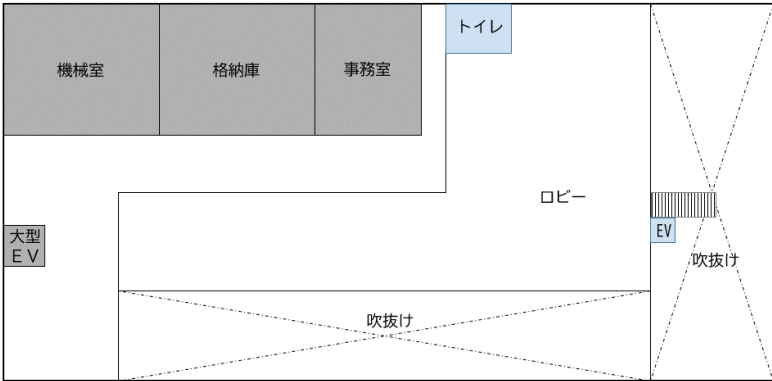
<位置図>



<1F平面図>



<2F平面図>



敷地面積：7,267㎡
建ぺい率：60%

建築可能面積：約4,300㎡

<立面図>

2F	事務室・機械室等
1F	エントランス・賑わい・展示室等

報告事項3(参考資料2)

※以下の配置計画については、対象地の評価・比較を行うにあたり、どの程度の展示室配置が可能であるかを主眼に置いた検討を行ったものであり、具体的な配置計画については、今後詳細な検討を行うこととする。

冷泉小学校跡地

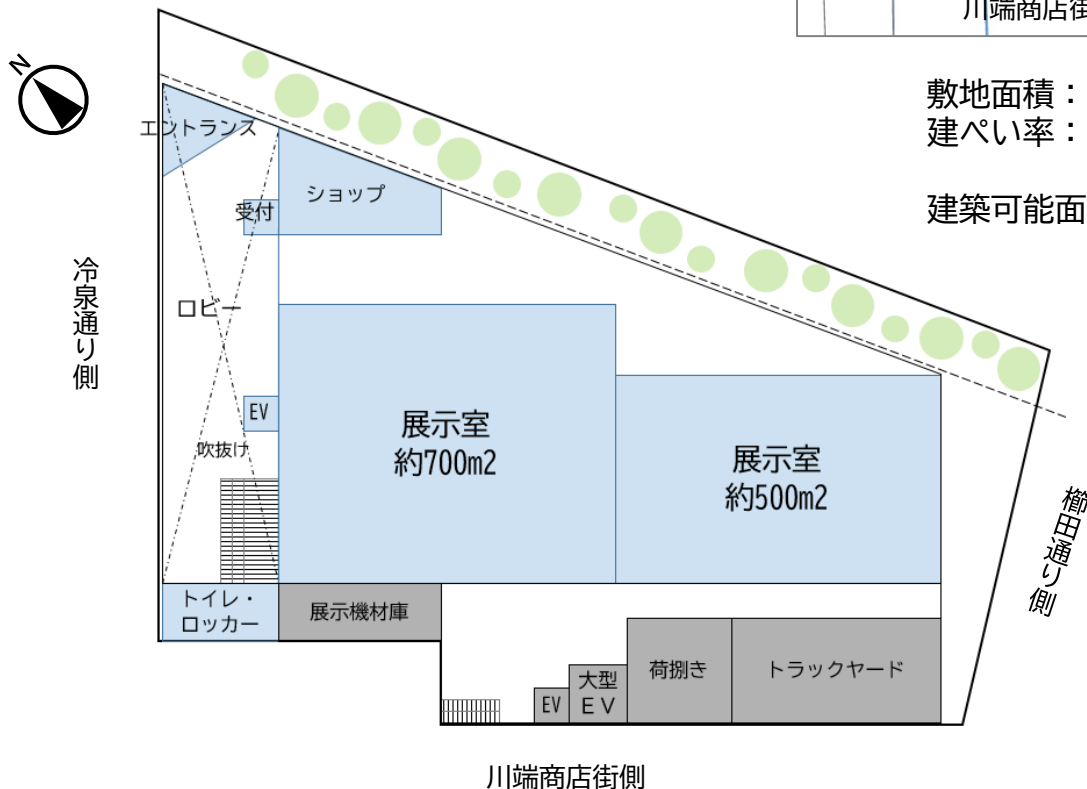
冷泉小学校跡地については、敷地面積6,800㎡の中央部に国史跡「博多遺跡」が存在し、建物を建てることや上空を構造物で覆うことは許可されないため、博多遺跡部分を除く両区画を比較し、面積が広くとれるA区画にて美術館配置の可能性について検討を行った。



敷地面積：3,300㎡
建ぺい率：80%

建築可能面積：2,640㎡

<1F平面図>



建築可能面積に対して配置計画を行った場合、展示室は、面積約1,200㎡となり、必要な展示面積を確保するためには、1・2階に展示室を配置する必要がある。

<立面図>

必要な規模を確保するためには3階建てとなる。(2,640㎡×3=7,920㎡)

3F	事務室・機械室等
2F	展示室・賑わい等
1F	展示室・エントランス等

警固公園地下駐車場

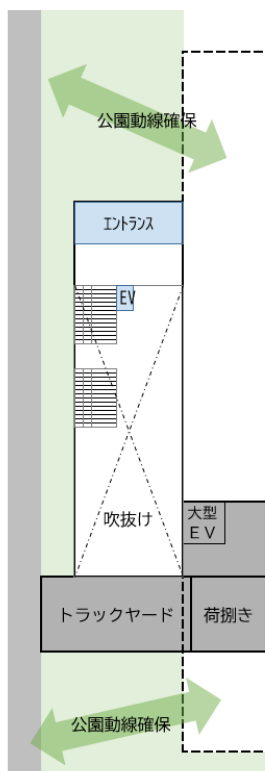
警固公園地下駐車場については、地下部分の既存躯体を活用するとともに、現在の車路部分に地上と地下をつなぐための増築を行った場合の美術館配置の可能性について検討を行った。

<地上平面図>

ソラリアプラザ側



岩田屋側

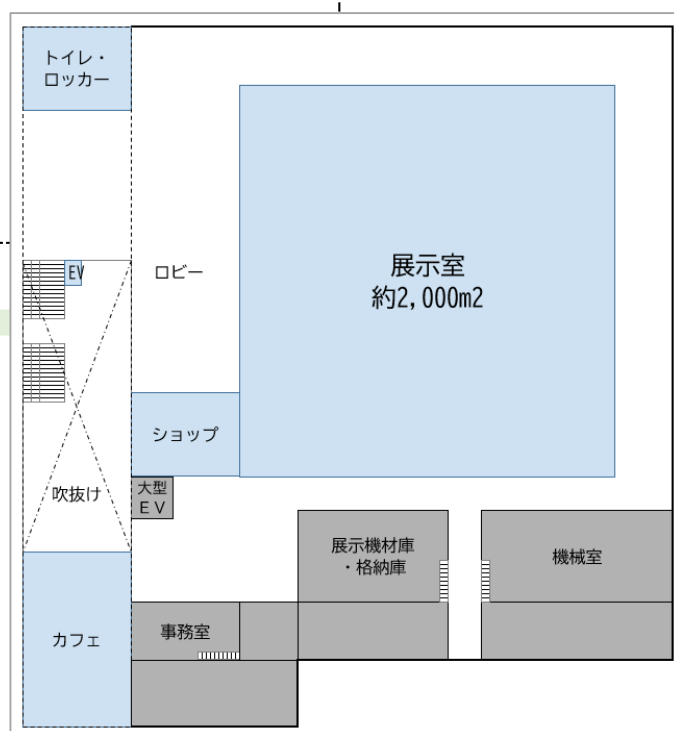


警固神社側

地下駐車場平面積
約5,100㎡
※車路部分を除く

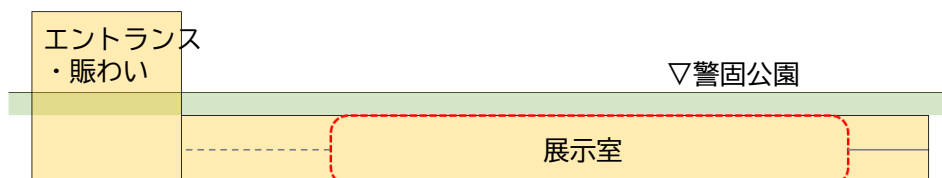
西鉄福岡(天神)駅側

<地下平面図>



<断面図>

<< 増 築 >>



▽警固公園

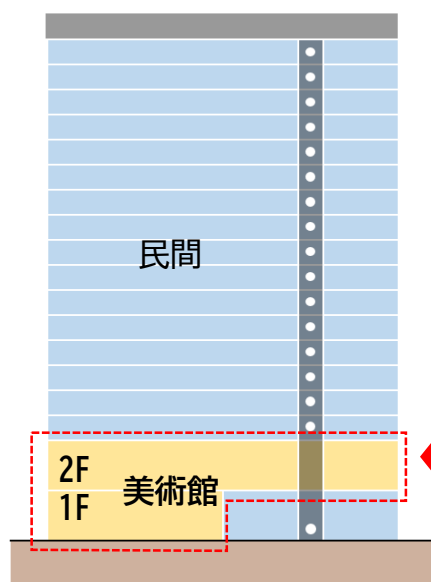
地下1・2階の二層構造を一層化し、
展示室に必要な天井高さを確保

※以下の配置計画については、対象地の評価・比較を行うにあたり、どの程度の展示室配置が可能であるかを主眼に置いた検討を行ったものであり、具体的な配置計画については、今後詳細な検討を行うこととする。

民間ビル内

民間ビル内については、天神ビッグバン・博多コネクティッドのエリア内、**建築面積を5,000㎡程度と仮定し、低層階での美術館配置の可能性について検討**を行った。

<立面図>

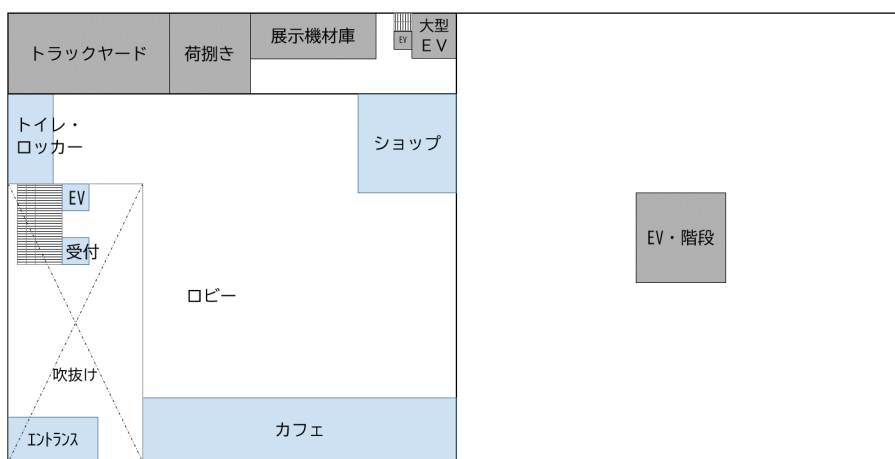


ビルの1・2F部分を美術館として区分所有することを想定

※ 現在のアジア美術館の課題解決を図るために、低層階への配置を検討

※ 美術作品の恒久的な展示の場であるために、区分所有を検討

<1F平面図>



美術館ゾーン ← | → 民間ゾーン

<2F平面図>

